決済動向
—平成10年7月—

平成10年9月10日
信用機構室

1. 日本銀行における決済関連計数

7月の日銀当座預金決済（1営業日平均）は、件数ベースでは2.1万件（前年比+1.9%）、金額ベースでは174.1兆円（前年比+8.0%）となった。金額の内訳をみると、当座預金振替等は159.8兆円（前年比+7.2%）、民間の集中決済制度にかかる資金決済は7.4兆円（前年比+0.0%）となった。

7月の国債の決済件数・金額をみると、登録国民債の移転登録（1営業日平均）は、件数ベースで4.6千件（前年比−5.6%）、金額ベースで16.5兆円（前年比+23.5%）となった。また、日本銀行における振決国債の口座振替（1営業日平均）は、件数ベースで3.0千件（前年比−1.6%）、金額ベースで18.0兆円（前年比+21.3%）となった。

7月の国庫金取扱高（受払合計、1営業日平均）は、件数ベースで55.4万件（前年比+1.1%）、金額ベースで5.6兆円（前年比+16.3%）となった。

7月の日本銀行における銀行券受払高（月中合計）は受入高8.1兆円（前年比−5.2%）、支払高7.6兆円（前年比+0.4%）となった。

2. 民間決済システム関連計数

民間決済システムにおける取扱件数・金額をみると、7月の手形交換高（東京手形交換所、1営業日平均）は、枚数ベースでは39.1万枚（前年比−10.2%）、金額ベースでは3.6兆円（前年比−18.7%）となった。

7月の全銀システム取扱高（1営業日平均）は、件数ベースでは428.1万件（前年比+3.6%）、金額ベースでは8.5兆円（前年比+0.2%）となった。

7月の外為円決済交換高（1営業日平均）は、件数ベースでは4.5万件（前年比+13.4%）、金額ベースでは45.0兆円（前年比+16.2%）となった。

3. その他

7月の東京金融先物市場の取引数量（ユーロ円3ヵ月金利先物、1営業日平均）は7.8万契約（前年比−17.1%）、月末の建玉数量は182.8万契約（前年比−1.7%）となった。

6月、7月のSWIFT総送信件数（本邦分、月中合計）は、それぞれ、294.5万件（前年比+13.6%）、274.2万件（前年比+7.8%）となった。